

月刊原宿新聞

発行所
月刊原宿新聞社
本社/東京都渋谷区神宮前3-21-16
NK-1ビル3階
TEL03-3796-6865
FAX03-3796-6815
E-mail info@tltny.co.jp

渋谷区都議補欠選挙

定数二人 21日告示、30日投票で がゼロに

渋谷区都議補欠選挙は二十一日告示、三十日投票が行われる。投票は同日午前七時から午後八時まで。開票は同日午後八時五十分から神南小学校体育館で行われる。およそ二時間後には当選者が確定する予定だ。

補欠選挙は矢部議員が衆院選に出馬、辞任扱いになったことに伴うもので、現在渋谷区選出の都議はまったくいない状態だ。

東京都の都議の総数は、百二十七人。このうち渋谷区選出の議員定数は一人、ところが、今年五月、同区選出の都議が刑事事件をおこし逮捕され、辞職した。このため渋谷区からの都議議員は矢部氏だけだったが、同氏が衆院選に出馬し都議として辞任扱いとなり補欠選挙となった。

今月中に住民集会

大規模留置場建設構想 大規模留置場の代表を招き討議

大規模留置場建設構想で東京都が四者協議会に定員を三百人規模にしたいとの提示を受けた地元住民、商店街の代表らは先月二十八日、意見集約の会合を開いた。参加した約二十五人の代表らは三百人という規模は容認できないとしながらも、東京都の建設計画の具体的な内容を聞く方針を固めた。今月中にも東京都の代表を呼び一般住民も参加した住民集会を開催、公論討議会形式の集まりで住民の意見を聞く考えだ。

建設構想は、二年前、大手紙が「原宿に六百人収容の大規模留置場建設構想」と銘打ち報道したことからはじまった。住民らはさまざま建設反対の署名を集める大規模の住民運動と発展した。ところが、この後都知事選、区長、区議選挙などが行われ、担当者が替わるなど一時交渉が中断された状態の時期もあった。さる九月末、東京都側から

収容人員を三百人にしたいとの協議案が提示され、これを受けて四者協議会は地元の各商店、町内会などに意見を打診、このほど意見が集約された。

住民集会は、今月中に開催予定。東京都側から代表者を呼び、詳しい建設計画を話し、どうもとも、一般住民らの意見を聞き最終的な街の方向性をまとめていく考えだ。

大規模留置場は街にとつて嫌悪施設。ただ、七千二百坪の敷地のなかで留置場計画は全体の計画の一部であることも確か。嫌悪施設を建設するのであれば、そのほかの施設でどう原宿に役立つ施設をつくっていくか、それが最も大切な部分ではないか。

町の声を活かして 東京のシンボルに

「青山通りと街並みの景観を考えた会」(井口典夫委員長)が発足した。国土交通省の景観整備事業に伴うもので、地元の学識経験者を中心に構成。歩道舗装、植栽の整備、看板、標識などを含め街の声を聞き、青山通りの全体のアーバンデザインを描いていく考えだ。

後、考えをまとめるのは、青山通りにも東京のシンボルとなるようなアイデアが期待されている。来春開業を控えている、委員会メンバーは次の通り。(敬称略)

井口典夫(委員長・青山学院大学教授、交通・まちづくり) △近藤三雄(東京農業大学教授、都市緑化・街路樹) △園部正(園紀建築設計事務所所長、建築) △浜野安宏(浜野総合研究所所長、商環) △プロデューサー △面出薫(ライディングプランナー) △アソシエーツ代表 照明プランナー △鈴木実夫(青山通り歩道整備を考えた会) △地元代表 △藤井元生(国土交通省東京国道事務所長) △依田俊治(東京都建設局道路管理部保全担当部長) △渋谷典昭(港区街づくり推進部長) △五井満久(渋谷区都市整備部長)

「青山通りと街並みの景観を考えた会」(井口典夫委員長)が発足した。国土交通省の景観整備事業に伴うもので、地元の学識経験者を中心に構成。歩道舗装、植栽の整備、看板、標識などを含め街の声を聞き、青山通りの全体のアーバンデザインを描いていく考えだ。

後、考えをまとめるのは、青山通りにも東京のシンボルとなるようなアイデアが期待されている。来春開業を控えている、委員会メンバーは次の通り。(敬称略)

井口典夫(委員長・青山学院大学教授、交通・まちづくり) △近藤三雄(東京農業大学教授、都市緑化・街路樹) △園部正(園紀建築設計事務所所長、建築) △浜野安宏(浜野総合研究所所長、商環) △プロデューサー △面出薫(ライディングプランナー) △アソシエーツ代表 照明プランナー △鈴木実夫(青山通り歩道整備を考えた会) △地元代表 △藤井元生(国土交通省東京国道事務所長) △依田俊治(東京都建設局道路管理部保全担当部長) △渋谷典昭(港区街づくり推進部長) △五井満久(渋谷区都市整備部長)

後、考えをまとめるのは、青山通りにも東京のシンボルとなるようなアイデアが期待されている。来春開業を控えている、委員会メンバーは次の通り。(敬称略)

井口典夫(委員長・青山学院大学教授、交通・まちづくり) △近藤三雄(東京農業大学教授、都市緑化・街路樹) △園部正(園紀建築設計事務所所長、建築) △浜野安宏(浜野総合研究所所長、商環) △プロデューサー △面出薫(ライディングプランナー) △アソシエーツ代表 照明プランナー △鈴木実夫(青山通り歩道整備を考えた会) △地元代表 △藤井元生(国土交通省東京国道事務所長) △依田俊治(東京都建設局道路管理部保全担当部長) △渋谷典昭(港区街づくり推進部長) △五井満久(渋谷区都市整備部長)



現状



将来予想図

写真は「国土交通省・青山通りと街並みの景観を考えた会」提供

渋谷区消防署完成

来月15日から新庁舎へ移転

渋谷区消防署の新庁舎が今月末にも完成。来月十五日から神南の新庁舎で事務を開始する。同時に恵比寿出張所も新しくなる。

新庁舎は、鉄骨鉄筋コンクリート造で地上八階、地下一階、敷地面積三百二十四平方メートル、建築面積八百七十三平方メートル。延べ床面積五千五百六十七平方メートル。

地下一階は体育室のほか、三階には防災教室などが設けられている。東京消防初の免震構造のほか、消防署の六階から八階までに防災員宿舎を設置。非常時の職員を確保した。さらに渋谷区救急を配置。増加する渋谷の繁華街での救急事案に対応する。

恵比寿出張所は、鉄骨鉄筋コンクリート造で地上三階建て、敷地千七百七平方メートル。延べ床面積九百九十九平方メートル。渋谷消防団第二分団の分団本部との合築予定だ。

同消防署は、秋の火災予防運動の一環としてきょう午前九時からアトレ恵比寿で渋谷消防署と企業の自衛消防隊が連携した大規模な消防演習を行う。さらに十四日は午後一時半から渋谷区商工会館で防火管理者実務講習会が実施される予定だ。

確かな技術で応援します
PCサポーターG.O.G
G.O.G

パソコントラブル出張サポート/インターネット接続設定
LAN構築など何でもご相談ください。
0120-570-075
G.O.G株式会社
東京都千代田区神田駿河台3-1 日光ビル
代理店:MMSいちかわ <http://www.gog.co.jp/>

Safety Resource
Creation

有限会社 エス・アール・シー

代表取締役 志田 隆一郎
東京都墨田区立花5-7-11-203
Tel:03-3617-0366 Fax:03-3617-5288
<http://www.sr-c.net> E-mail:shida@sr-c.net



青山店 店長 白井 孝文

本店 Tel:03-3404-6003・03-3404-7024
青山店 Tel:03-5785-4464

高級ブランド店が続々

表参道で商品戦略展開へ

高級ブランドの出店ラッシュが相次ぐ表参道に今度は、クリスマスチャンデイオールは、クリスチャンデイオールの直営店がオープンする。

デイオールは、LVMHグループ。ルイヴィトンが昨年表参道に進出。さる九月オープンした「ONE OMOTE SANDO」にはグループ傘下のフェンディ、セリウス、ドナキャラン、ロエベの四ブランドが日本初の路面店として登場した。従来からあった高級戦略を展開。フラッグシップ店にいく考えだ。

デイオールは鉄筋コンクリート造の一部RC造。地上四階地下一階。敷地面積三百四十五平方メートル。地下七階地下一階。同店も完成すれば、国内最大規模となる予定。

敷地は五百十八平方メートル。建築面積四百一平方メートル。延べ床面積千五百四十五平方メートル。地下七階地下一階。同店も完成すれば、国内最大規模となる予定。



高級ブランドの出店ラッシュ
表参道に直営店もオープン

特別養護老人ホーム中心に

複合施設の建設進む

旧渋谷小跡地の複合施設(仮称)の建設工事が始まった。施設には、渋谷区内で最大規模の特別養護老人ホームのほか、保育園、コミュニティ施設、ブリティッシュスタイルなどが設けられる計画だ。完成は、平成十七年の九月。同年十一月オープンの予定。総事業費約五十六億円。

場所は、青山パークタワーの向かい側。敷地面積は約四千五百メートル。建築面積は約一万三千平方メートル。地上九階。地下一階建ての鉄骨鉄筋コンクリート造り。



完成予想図

施設内容は、四階から九階までが特別養護老人ホーム。特養は常時介護を必要とし、自宅では介護を受けることが困難な人たちが対象としたもので、全室個室。常時の入居者用百十九床とショートステイ用二十一床の計百四十床。現在渋谷区で約五百人が入居待たわしい。

保育園は一階部分。ゼロ歳児から五歳児を対象に六十人規模。このほか、三階には教育センターの教育相談の一環として実施されている「けやき教室」が入るほか、渋谷小にあったブリティッシュスクールも引き続き入る予定。

施設内容は、四階から九階までが特別養護老人ホーム。特養は常時介護を必要とし、自宅では介護を受けることが困難な人たちが対象としたもので、全室個室。常時の入居者用百十九床とショートステイ用二十一床の計百四十床。現在渋谷区で約五百人が入居待たわしい。

あなたも仲間になろう

原宿手づくりパン教室

原宿手づくりパン教室の「ブレッドハウス」(若尾幸枝代表)は、ヘルシーなパンづくりを始めて二十五年。手作りの仲間を生徒さんを募集 중이다。教室では初級実習がロールパン、チーズパン、ブレッドチキン、食パン、あんぱん

が少なく、入居待ちのお客が多いことから早期のオープンが望まれている。

と用意されており、曜日も月曜から日曜まで開かれています。

短時間製法。手軽に短時間で楽々焼き上がり特徴。「見学大歓迎。お気軽にお越しください」と同ハウス。

住所は、渋谷区神宮前四二二二アビターレ原宿一〇二号。連絡先は、三四七〇二〇三番。

商店主らも出席

くりん03シンポジウム

「くりん03」のまちづくり交通・空間環境について考えようをテーマにした「くりん2003」シンポジウム(NPO法人アウア主催)が開かれた。

パネラーに神山一夫氏(都市整備部)、佐藤重氏(渋谷区商店街連合会会長)らが出席。「来街者・商店主アンケート」の調査結果が報告された後、街づくりに関してディスカッションされた。

大賑わいした表参道 ハロウィンパレード



原宿表参道ハロウィンパレード
が十月二十六日(日)に開催されました。小さなお子さん

から大人まで、思い思いのコスチュームで、通行止めとなった表参道を練り歩きました。先頭はダンスチーム。年々規模が大きくなり、街全体のイベントとなっています。

日本陶芸倶楽部 アマチュア作品展

22日から東郷神社境内で日本陶芸倶楽部アマチュア作品展が、二十、二十三日、神宮前の東郷神社境内で開かれる。

当日は、アマチュア陶芸家の力作約二百点が展示されるほか、飛び入り参加できる作陶会、お茶会なども行われる。

詳しいことは日本陶芸倶楽部(〇三三四〇二二二六三四番)まで。

催し物のお知らせ

▼代々木公園フリーマーケット 十二月十三(日)二十四(日)午前十時~午後四時 公園広場で開かれます。連絡先03・3412・6857 (リサイクル推進友の会)

▼「Lingo」の城「Lingo」のためのお茶会体験講座 十二月七日(日)小学生から高校生対象 受講料一五〇〇円 連絡先03・3797・5666

▼小P連バドミントン大会 キャンペーン会議 十一月十九日(水)十時~渋谷区役所 連絡先03・34663・1211 (社会教育課)

「月刊原宿新聞」第二号をお届けします。神宮前に住む「みんなの新聞」を目指し編集しました。投稿、提言、情報提供をお願いします。 月刊原宿新聞社

JAZZ HOUSE
灯屋

AKARI-YA

東京都中野区中央4-26-10 東豊マンションB1F
Tel:03-3380-6281

AIR PRESS
Celebrity
Medical Relaxation & Anti-Aging Salon

エアプレス セレブリティ
代表 町田 典隆

〒107-0061
東京都港区北青山3-6-20 青山T&E 7F
Tel:03-6419-2880 Fax:03-3499-2227
E-mail/airpress-celeb@viola.ocn.ne.jp

霧島地鶏焼き

きばんせ

東京都渋谷区神宮前2-21-12
Tel:03-3796-8788